

KODEN

移動式クーラー 取扱説明書

家庭用《保証書付》

型式

KEP

203R

排熱ダクト付き

このたびは当社の製品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。

ご注意ください

- 本機は、移動式クーラーです。セパレートエアコンとは構造が異なります。
部屋全体を冷やすものではありません。補助的な冷風機としてご使用ください。
- 本機は、ノンドレン機構を備えており、冷風モード及び除湿モード時には排水する必要有りませんが、湿度の高い場所で使用すると排水が溜まりやすく、満水検知機能が作動する場合があります。
- 本製品を移動する際には、溜まったドレン水を排水してから行ってください。
床を濡らす原因になります。

目次

- ①製品の仕様
- ②安全上のご注意
- ③組み立て方法
- ④正しい使い方
- ⑤お手入れと保管
- ⑥「故障かな?」と思ったら
- ⑦保証とアフターサービス

① 製品の仕様

型 式	KEP203R	
定 格	単相 AC100V	
	50Hz	60Hz
消費電力(W)	590	730
冷房能力(kW)	1.8	2.0
運転電流(A)	6.2	7.3
始動電流(A)	24	33
除湿能力(リットル/日)	23	28
圧縮機	全閉型ロータリー(出力0.63kw)	
冷媒	HFC R410A(GWP値:2090)	
冷媒封入量(g)	295g	
圧縮機保護装置	オーバーロードプロテクター	
外形寸法(mm)※ダクト含まず	約幅 315 × 奥行 310 × 高さ 700	
質 量	約 20 kg	
電気代(1時間あたり)	約 16 円	約 20 円
使用環境	16℃～35℃	

- 冷房能力および電気特性は、室温27℃相対湿度60%の条件で運転したときの値です。
- 電気代は強冷風運転時の消費電力を 1kWh:27円(税込)で算出しています。

この商品は日本国内専用です。

FOR USE IN JAPAN ONLY
621192601

② 安全上のご注意

記号の絵表示について

人への危害や財産の損害を未然に防ぐための重要な内容です。必ずお守りください。

★誤った使い方をされたとき生ずる被害を2つに区分

 警告	人が死亡や重傷を負うおそれがある内容
 注意	人が傷害を負うおそれや財産の損害を負うおそれがある内容

・本文中の絵表示の表す意味です。

してはいけない「禁止」の内容です。		一般的な禁止
		分解禁止
		ぬれ手禁止
必ず実行していただく「強制」の内容です。		必ず行う
		電源プラグを抜く
		アースを取り付ける

警告

-  交流100V以外での使用はしない。
漏電・感電・火災などの原因になる。
-  電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねない。
電源コードを破損し、火災や感電の原因になる。
-  次の場所や屋外では使用しない。
感電、ショート、および火災、爆発の恐れがある。また、事故や故障の原因になる。
・火気の近く・雨や水しぶきのかかる場所
・油や油煙が製品に直接かかる場所
・ガスや蒸気、化学物質などの爆発性粉じんが発生する場所
・灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、塗料など引火性のものがある場所
-  本体は横倒しにしない。
-  本体の上に水などの液体の入った容器を置かない。
こぼれた水などで電気絶縁が悪くなり、感電・漏電火災などの原因になる。
-  絶対に改造しない。
火災・感電・ケガのおそれがある。
-  修理技術者以外の方は、分解・修理をしない。
火災・感電・ケガのおそれがある。
-  濡れた手で差込みプラグやスイッチ・配線などの電気まわりに触らない。
感電やケガのおそれがある。

② 安全上のご注意(つづき)

警告

- ❗ 定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱し発火するおそれがある。
- ❗ 水平で硬い安定した場所に設置する。
転倒のおそれがある。
- ❗ 差込プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る。
差込プラグにほこりなどがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になる。
- ❗ 包装用ポリ袋は子供の手の届かない場所に保管する。
顔に貼り付いたり巻き付いたりし、窒息による死亡やケガの原因になる。
- ⚡ お手入れ、取り付けのときは、差込プラグをコンセントから抜く。
感電のおそれがある。
- ⚡ アースを確実に取り付ける。
故障や漏電のときに感電のおそれがある。

注意

- ⊘ 子供、身体の不自由な方、高齢者の方には操作させたり、近くで使用しない。
ケガをするおそれがある。
- ⊘ 電源コードに重量物をのせたり、挟み込まない。
電源コードが破損し、災害やの原因になる。
- ⊘ 電源コードや延長コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。
コードが発熱して火災の危険がある。必ず伸ばした状態で使用する。
- ⊘ 電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。
感電やショートして発火することがある。
- ⊘ 強い衝撃を与えない。
感電・故障・破損によるケガの原因となる。
- ⊘ 排熱口・冷風吹出し口や底面に指や手を入れない。
ケガをする原因となる。
- ⊘ 障害物(カーテン等)の近くや振動・傾斜のある場所で使用しない。
転倒などによりケガや事故の原因となる。
- ⊘ 冷風を長時間体にあてない。
体調悪化・健康障害になる。
- ⊘ 船舶・車両等の空調用として使用しない。
水漏れ・漏電の原因になる。
- ⊘ フィルター部に紙や物を貼らない。
故障の原因になる。

② 安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

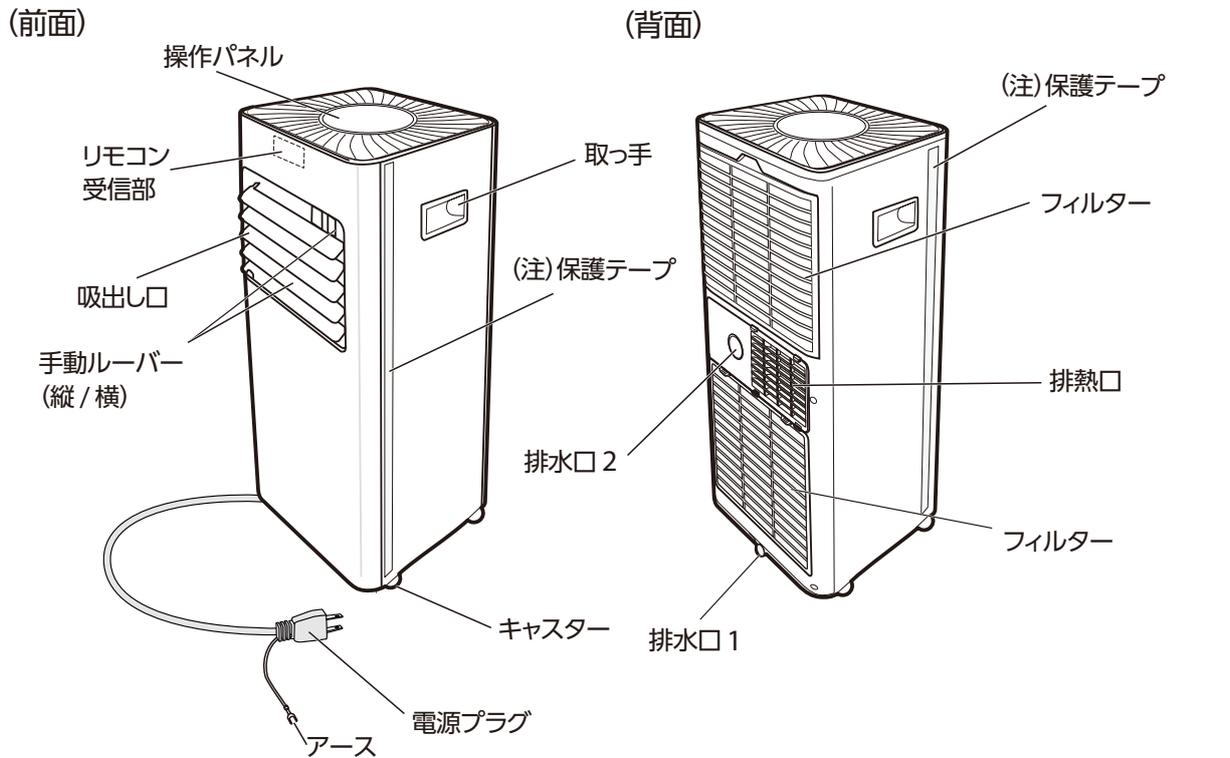
-  **電源プラグは根元までしっかり差し込む。**
感電・ショート発火の原因になる。
-  **電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、お買い求めの販売店に修理を依頼する。**
感電やショートして発火する恐れがある。
-  **テレビやラジオ等のAV機器から2m以上離す。**
電波障害の原因になる。
-  **本体に異常な振動が発生した場合は使用を中止する。**
思わぬ事故やケガの原因になる。
-  **運転可能条件範囲内で使用する。**
感電・火災・故障の原因になる。
16℃～35℃の雰囲気内で使用する。
-  **定期的にフィルター部の掃除を行う。**
ゴミ、油分などが付着すると目詰まりにより、霜の発生・水滴吹き出しの原因になる。
-  **移動する時は、必ず取っ手を持って移動する。**
ケガをする原因になる。
-  **搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業をする。**
落下・破損などによりケガをする原因になる。
-  **人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけをかかめず膝もまげて持ち上げるようにする。**
腰を痛める原因になる。
-  **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。**
感電やショートして発火する恐れがある。
-  **動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に必ず点検修理を依頼する。**
感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがある。
-  **使用しないときおよび、お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く。**
ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になる。
-  **保管する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。**
感電やケガの原因となる。

■ 廃棄について

本製品は、特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)の適用製品ではありません。廃棄する場合は、専門の回収業者に委託し適切に処理してください。廃棄についてご不明な点は、各地方自治体の窓口にご相談ください。

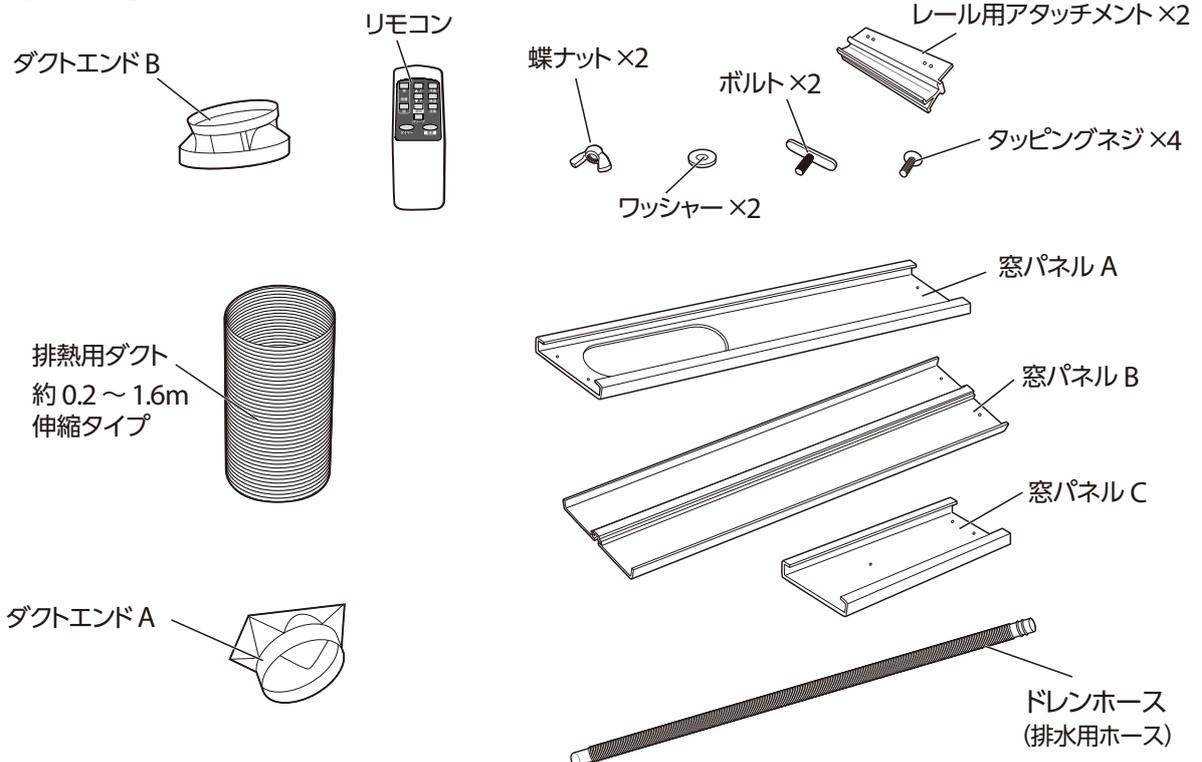
③ 組み立て方法

各部の名称



(注) ご使用前に本体両側面のテープは剥がしてください。

【付属品】



③ 組み立て方法(つづき)

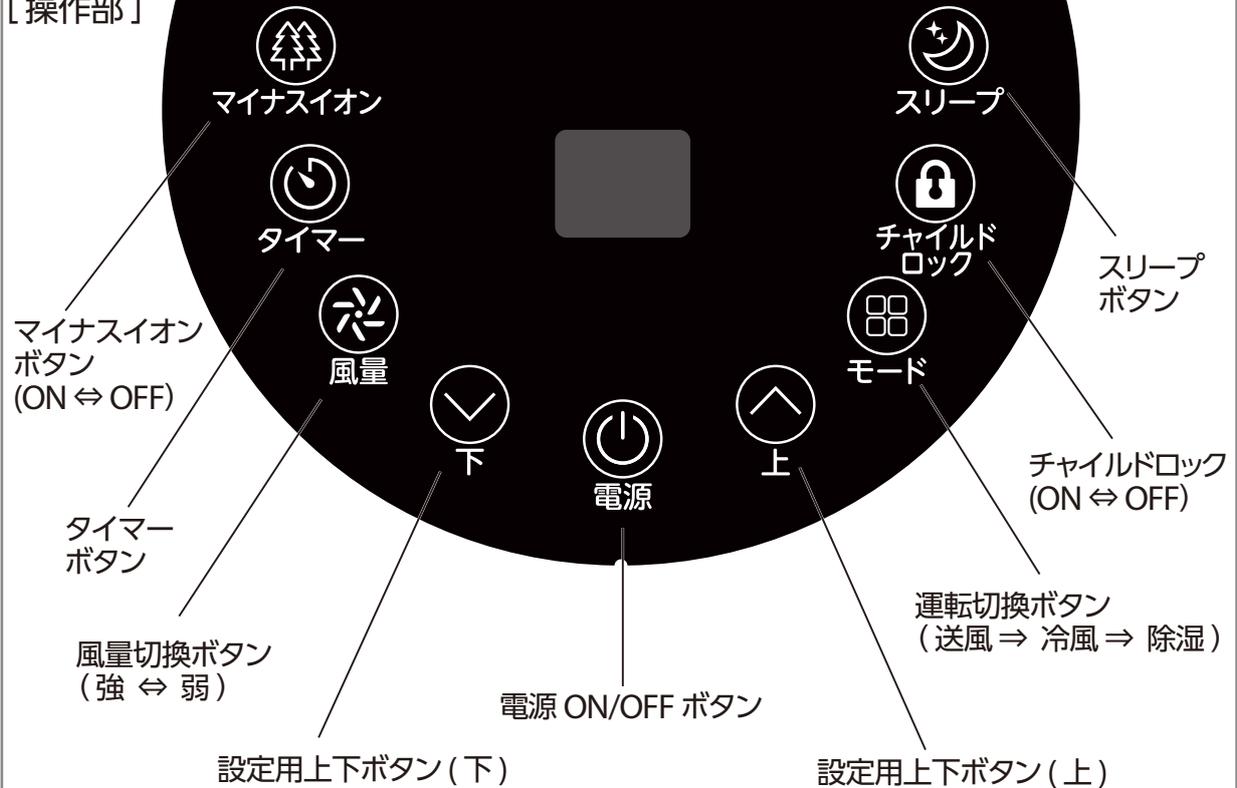
各部の名称(つづき)

(本体)

[表示部]

風量弱 風量強 マイナスイオン 冷風 除湿 送風

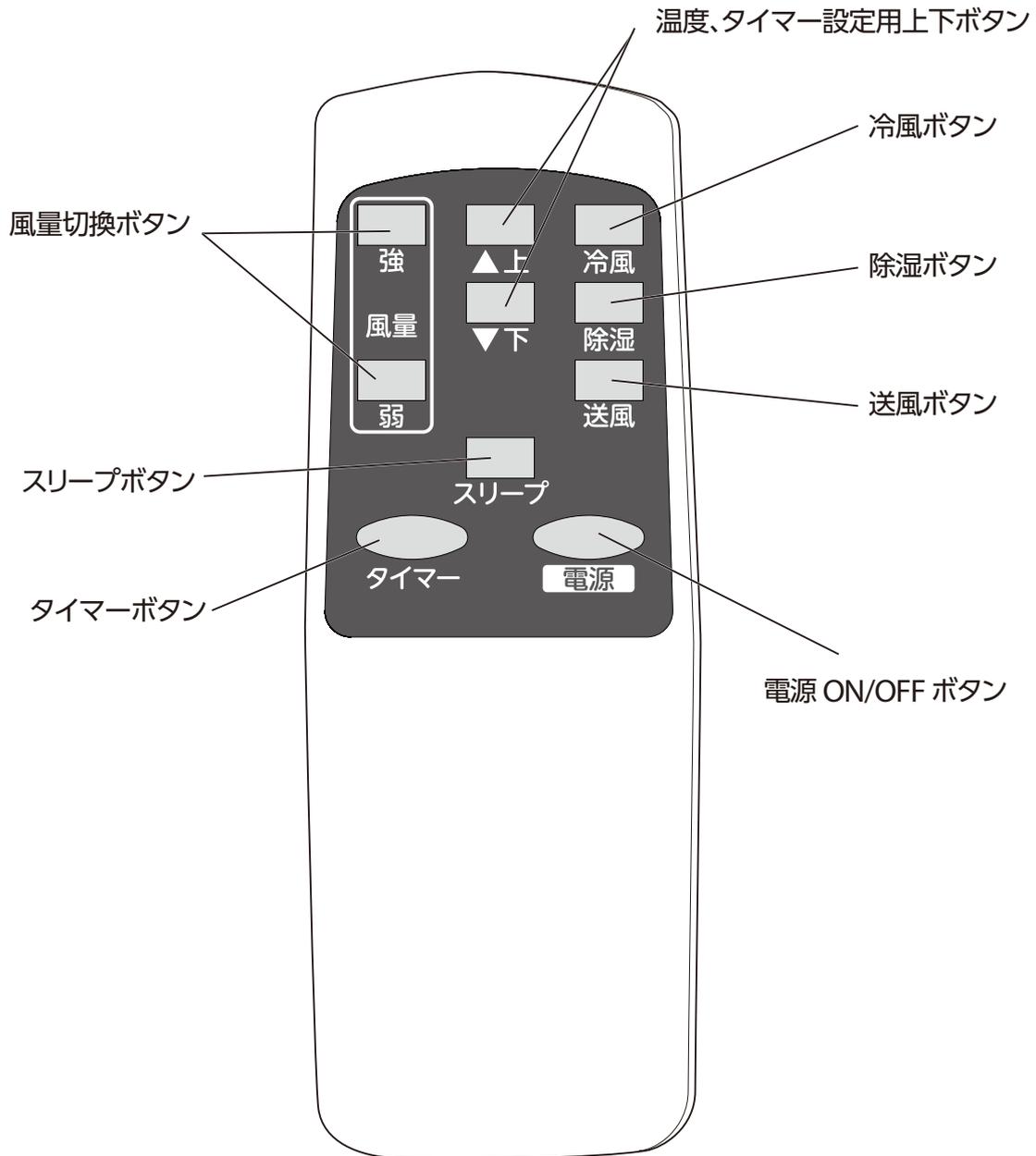
[操作部]



③ 組み立て方法(つづき)

各部の名称(つづき)

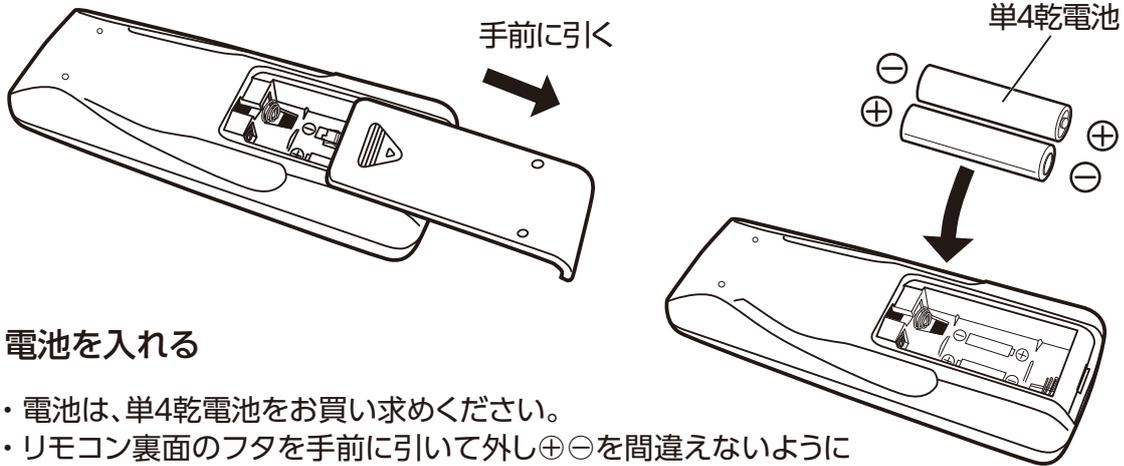
(リモコン)



リモコンは、本体前面の「リモコン受信部」に向けて操作してください。(4ページ参照)

③ 組み立て方法(つづき)

リモコンの準備



電池を入れる

- ・電池は、単4乾電池をお買い求めください。
- ・リモコン裏面のフタを手前に引いて外し⊕⊖を間違えないように単4乾電池を入れてください。

お願い

- 電池の⊕⊖を間違えないように正しく入れてください。
- 長期間使わないときは、電池を取り出してください。
- 使用済みの電池はお住まいの地域の分別方法に従って廃棄してください。
(廃棄の際はセロハンテープなどを巻きつけて絶縁してください。)



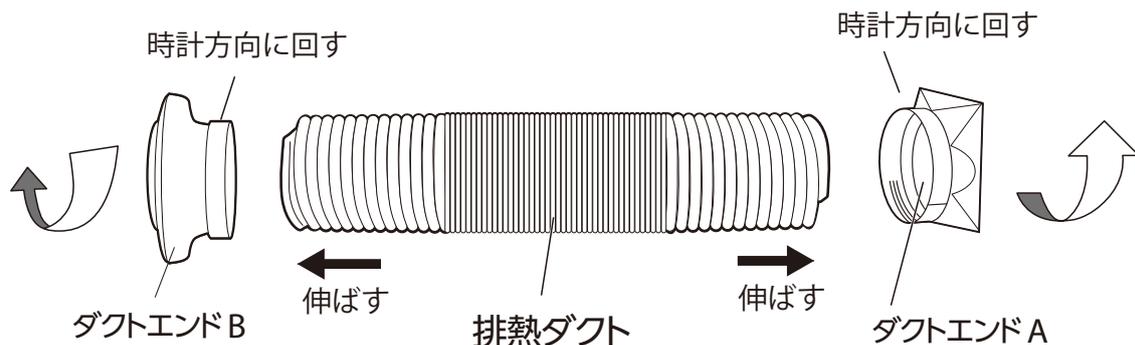
注意

- 電池やリモコンを乳幼児のそばに放置しない。
- 乳幼児がリモコンから電池を取り出さないように注意してください。

排熱ダクトの取り付け

1. 排熱ダクトの組立

- ・排熱ダクトの両端を伸ばします。
- ・ダクトエンドA・ダクトエンドBを排熱ダクト両端に挿入し、止まる所まで時計方向に回して固定してください。



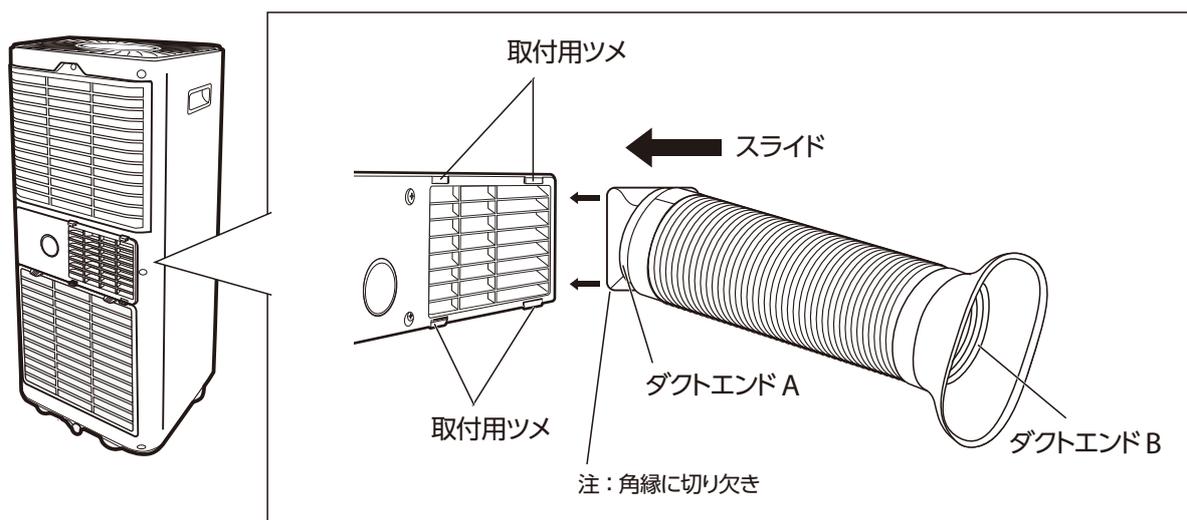
③ 組み立て方法(つづき)

排熱ダクトの取り付け(つづき)

⚠ 注意

- 本製品は室内機と室外機に分かれている家庭用エアコンとは異なり、一体型のため、前方から冷風が出る時は背面から温風が出ます。
- 冷風運転時、室温の上昇を抑えたい場合、排熱ダクトと窓パネルを使用してください。
- 排熱ダクトの延長(継足し)はしないでください。機能を妨げ、故障の原因になります。付属品の排熱ダクトを延長(継足し)することはできません。安全装置が作動し運転が継続できなくなる場合があります。
- 排熱ダクトが潰れている場合は、速やかに潰れを直してください。

2. 排熱ダクトの本体取り付け



- ・ダクトエンド A の角縁に切欠きがある方を排熱口の取付用ツメにスライドさせながら最後まで押し込んでください。
- ・排熱ダクトをお好きな長さに伸ばしてください。
排熱ダクトの長さは短いほど冷房効率は上がります。

⚠ 注意

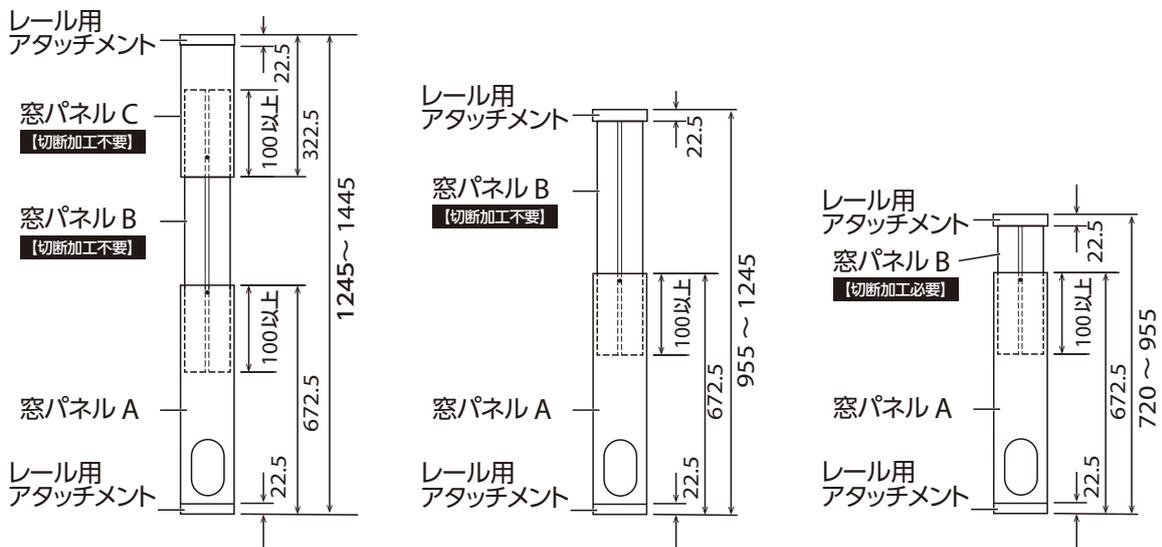
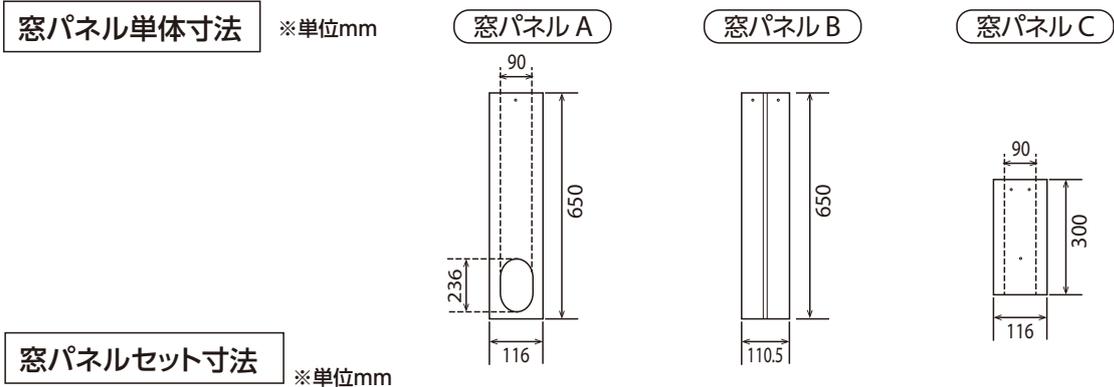
- ・排熱ダクト長さを調整する時は、排熱ダクトの根元に負荷がかからないように必ず手を添えて行ってください。

③ 組み立て方法(つづき)

窓パネルの組み立てと取り付け

- 窓パネルを取り付ける前に、窓の高さを測ってください。窓の高さが720mm～1445mmまでの対応になります。
- 窓の高さが1445mm～2000mmの場合は、別売品(オプション)「KEA06U」をお買い求めください。

※720mm～955mmまでは、取り付け長さに合わせて、パネルBのレール用アタッチメント取付穴の無い方をノコギリ等で切断して調節してください。この時、必ず2枚の窓パネルが100mm以上重なるようにしてください。ノコギリ等で切断した切り口はナイフやヤスリ等で仕上げてください。



⚠ 注意

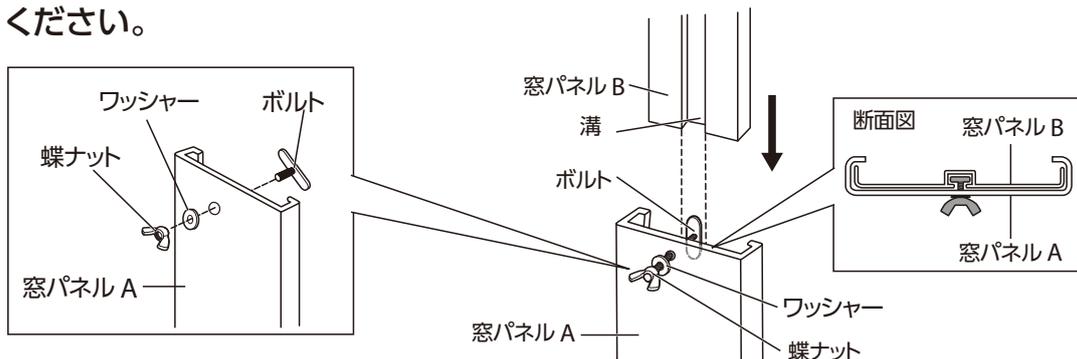
- 冷風運転時、室温の上昇を抑えたい場合、排熱ダクトと窓パネルを使用してください。
- 雨どい真下は避け、吹きおろし等により窓から雨水が侵入しない場所に取り付けてください。室内を汚す原因になります。
- 排熱口からの風切り音や、本体の振動等により騒音を発生する場合がありますので注意してください。
- 雨や風が強い時は、使用を中止し窓パネルを取り外してください。
- 鉄製の窓や特殊な窓には取り付け出来ないことがあります。
- 窓サッシ固定用の補助鍵を使用する場合は、市販品を購入してください。

③ 組み立て方法(つづき)

窓パネルの組み立てと取り付け(つづき)

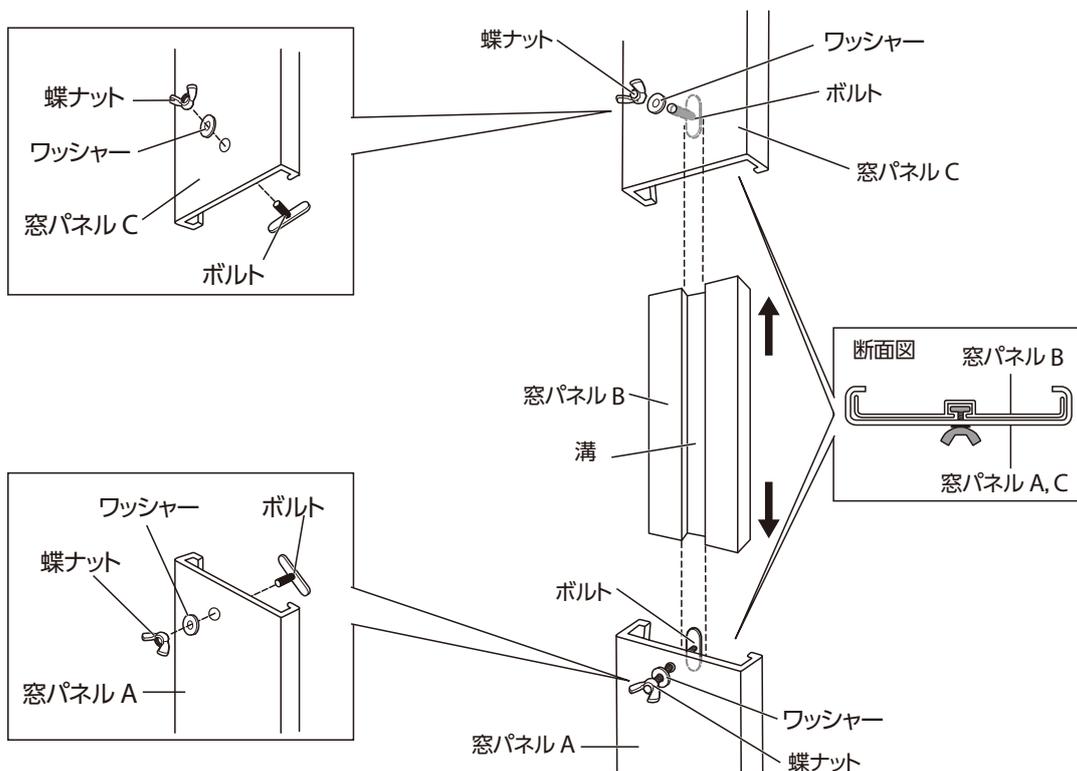
1. 窓の高さが720mm～1245mmの場合

- 窓パネル A の上端中央の穴にボルトと蝶ナットを仮止めしてください。
※2周くらい回した状態で結構です。
- ボルトの頭部と窓パネル B の溝を合わせて、窓パネル B を窓パネル A に挿入してください。



2. 窓の高さが1245mm～1445mmの場合

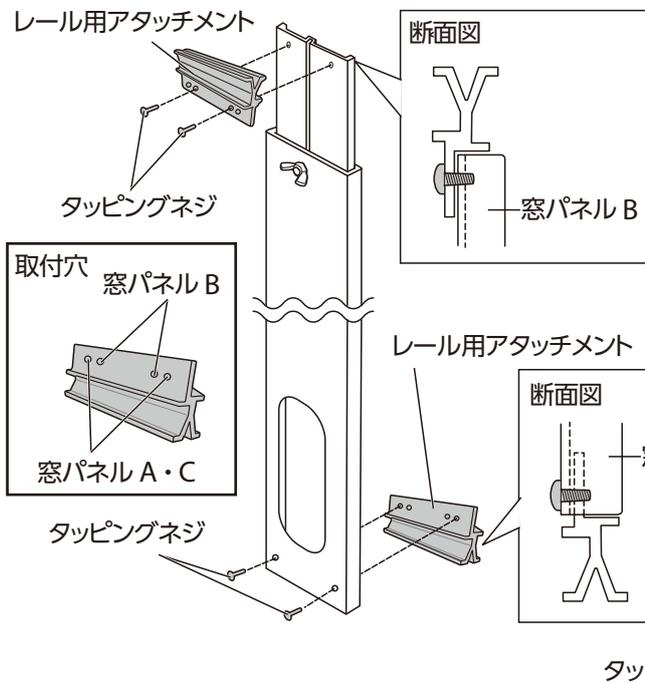
- 窓パネル A の上端中央と窓パネル C の下端中央の穴にボルトと蝶ナットを仮止めしてください。 ※2周くらい回した状態で結構です。
- 各々のボルトの頭部と窓パネル B の溝を合わせて、窓パネル B を窓パネル A, C に挿入してください。



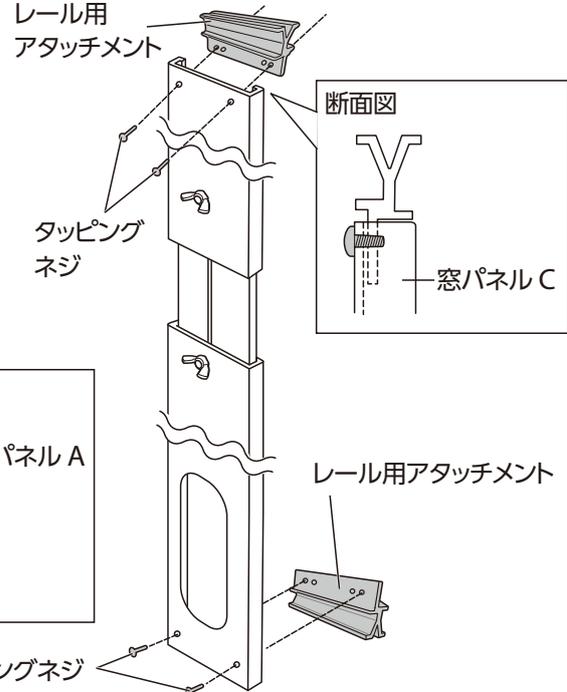
③ 組み立て方法(つづき)

窓パネルの組み立てと取り付け(つづき)

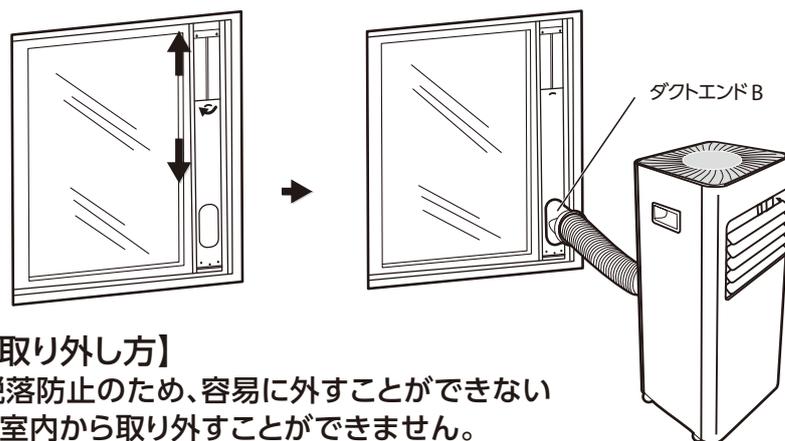
窓の高さ720mm～1245mmの場合



窓の高さ1245mm～1445mmの場合



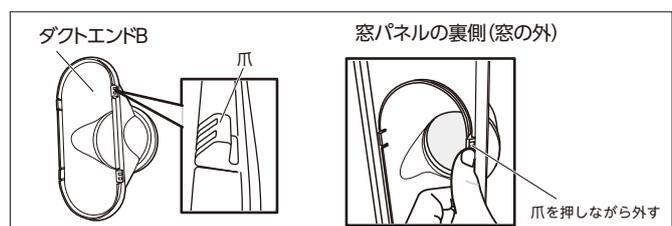
- 組み立てた窓パネルを窓枠の上下レールに合わせて蝶ナットをしっかり締め付けて固定してください。
 ※取り付けが不十分ですと、落下によるけがの原因になりますので、十分注意してください。
 ※必ず窓の戸と同じレールに取り付けてください。
 ※窓枠と窓パネルのすき間が大きい場合は、市販のすき間用ソフトテープ等を使用してください。
- ダクトエンドBを窓パネルの穴に差し込んでください。



【ダクトエンドBの取り外し方】

※ダクトエンドBは脱落防止のため、容易に外すことができないようになっており、室内から取り外すことができません。

※窓パネルからダクトエンドBを取り外すときは、窓パネルの裏側(窓の外)からダクトエンドBの爪を押しながら外してください。



③ 組み立て方法(つづき)

スペースの確保

⚠ 注意

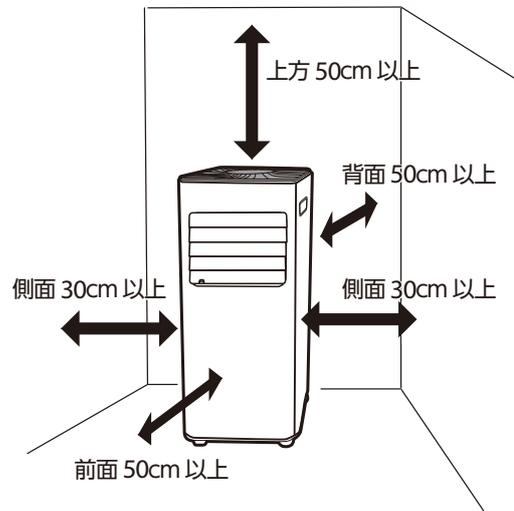
●製品は重量がありますので、けがをしないように必ず2人以上で設置・移動を行ってください。

・効率よく運転するために右図のスペースを確保してください。

※平らでしっかりとした床面に設置してください。

※上方の棚等からも、物が落ちない場所に設置してください。

※直射日光のあたらない場所に設置してください。



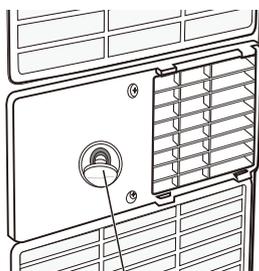
④ 正しい使い方

連続排水のとき

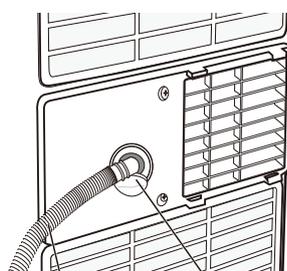
⚠ 注意

・除湿モードや冷風モードで連続運転をする時は、ドレンホースを使用してドレン水を排出してください。

- ・排水口2のゴム栓を取り外してください。
- ・ゴム栓の奥にあるドレンホース接続口にドレンホースを取付けてください。
- ・市販の容器等にドレンホースを差し込みドレン水を溜められるようにしてください。
- ・ドレンホースの折れ曲がり、段差等に注意してください。また、容器に溜まったドレン水はこまめに確認してください。ドレン水が容器からあふれて床を濡らす原因になります。



ゴム栓



ドレンホース

ゴム栓



排水口2

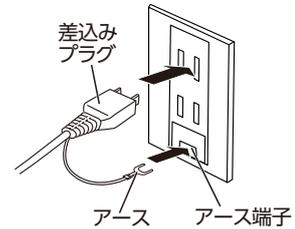
容器

④ 正しい使い方(つづき)

本体と電源の接続

1. アース線の接地をしてください。

- コンセントにアース端子がないとき
お買上げの販売店にアース工事(有料)を依頼してください。
アース工事(D接地工事)は、電気工事士の資格が必要です。
- コンセントにアース端子があるとき
アース先端を確実にアース端子に接続してください。



⚠ 注意

次のところにはアース線を接続しないでください。

- ・ガス管…爆発や引火の危険性があります。
- ・水道管…プラスチックの部分があり、アース効果がありません。
- ・避雷針・電話のアース線…落雷のときに大電流が流れ危険です。

2. 電源は、直接コンセントからとってください。

⚠ 注意

- 電源は直接コンセントからとるのが望ましいですが、やむを得ず延長コードをご使用になる場合は、右表に従ってご使用ください。

電線の長さ	公称断面積
15m以内	2.0mm ²

延長コードが細かったり、長すぎたりしますと電圧降下により冷風が出ないことや運転しない場合があります。

⚠ 警告

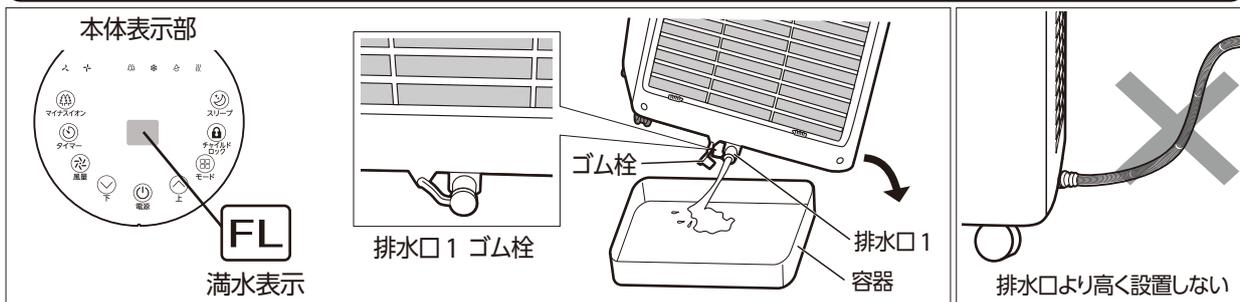
- 電気工事、アース工事には資格が必要です。詳しくは、お買上げの販売店にご相談ください。
- 労働安全衛生規則第333条・第334条および電気設備の技術基準により、漏電ブレーカーの取り付け・接地が義務づけられています。

〔漏電ブレーカーは15A、30mA、動作時間0.1sec以内の物をご使用ください〕

冷風モード運転(❄)

⚠ 注意

- 本機はノンドレン機構になっており、冷風モード時に排水する必要はありませんが、湿度の高い場所で使用すると排水が溜まりやすく、満水検知機能が作動する場合があります。
 - ・満水検知機能が作動すると、表示部に「FL」と表示され警告音がでます。
 - ・「FL」が点滅して停止した時は、電源をOFFにして、本体を傾けて排水口1のゴム栓取り外して本体内に溜まったドレン水を本体を傾けながら排出してください。
 - ・ドレン水を抜いた後は、排水口1のゴム栓を強く押し込んで確実に取り付けてください。ゴム栓を外したまま運転すると、室内を濡らす原因になります。
- 排熱ダクトと窓パネルを使用することにより、室温の上昇を抑え効率的に使用できます。
- 連続排水する場合は12ページを参照してください。
- ドレンホースを使用する場合は、排水口より高く設置しないでください。水漏れの原因になります。



④ 正しい使い方(つづき)

冷風モード運転(✱)(つづき)

①電源プラグをコンセントに差し込んでください。

操作パネルの全表示が一瞬ついた後、電源ON / OFF ボタンのみが点灯します。
(電気が来てる状態を示す。)

②操作パネルまたはリモコンの「電源」ボタンを押してください。

リモコンは、本体操作パネルの方向に向けて5m以下の距離で使用ください。
表示部に室温が表示されます。

③操作パネルの「モード」ボタンまたはリモコンの「冷風」ボタンを押して冷風モード(✱)を選んでください。

④操作パネルまたはリモコンの「上、下」ボタンを押して設定温度を設定してください。

※「上、下」ボタンを押すと現在の設定温度が点滅します。さらに「上、下」ボタンを押すことで16℃～32℃まで1℃単位で設定できます。その後数秒で室温表示に変わります。

※設定温度と実際の吹出口から出ている冷風温度は異なります。

※現在の室温よりも低い温度にセットしてください。部屋の温度よりも高い温度にセットした場合、冷風運転せず送風運転になります。

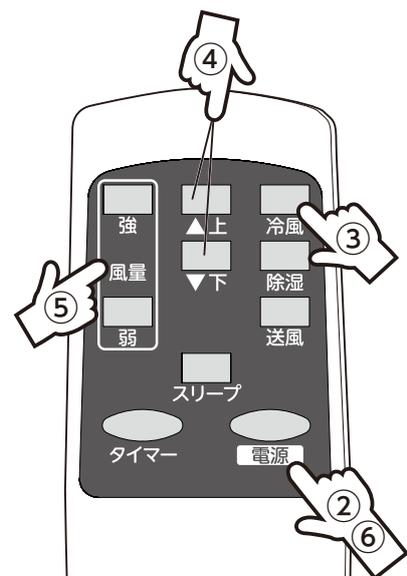
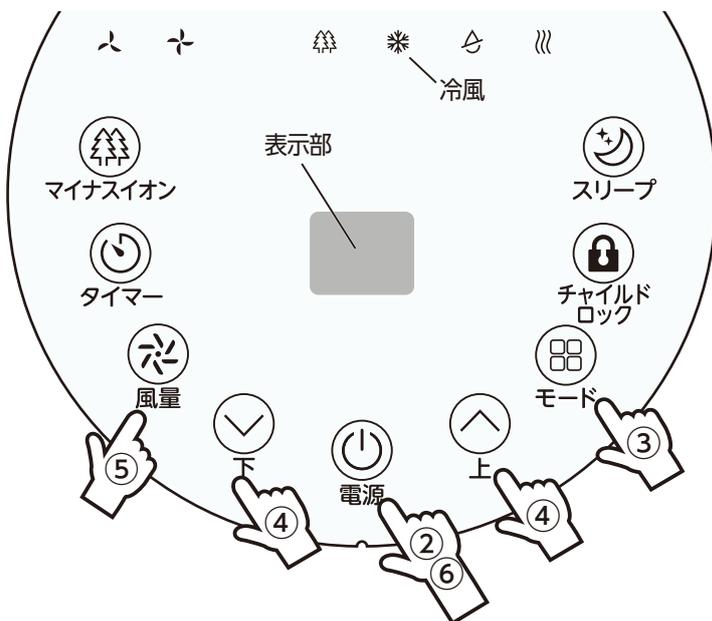
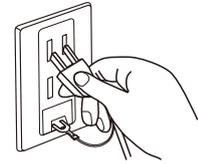
※冷風運転中は、設定温度を維持するためにコンプレッサーがON・OFFを繰り返します。

⑤操作パネルの「風量」ボタン(表示部へ弱、←強)またはリモコンの「風量」ボタン(強、弱)を押して風量を選んでください。数秒後に風量が変わります。

⑥運転停止は、操作パネルまたはリモコンの「電源」ボタンを押して運転を停止させてください。しばらくして運転停止します。

※操作パネルまたはリモコンの「電源」ボタンにより再度冷風運転を再開した場合、設定温度は前回設定した温度になっていますので、適切な温度に設定し直してください。

運転を停止した直後すぐに運転を再開しないでください。
必ず3分以上お待ちになってから運転を行ってください。



④ 正しい使い方(つづき)

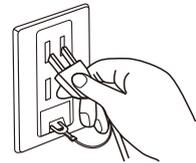
除湿モード運転(△)

⚠ 注意

- 湿度の高い場所で使用すると排水が溜まりやすくなり、満水検知が作動する場合があります。その際には窓パネルの設置や連続排水をお勧めします。
 - ・満水検知機能が作動すると、表示部に「FL」と表示され警告音がでます。
 - ・「FL」が点滅して停止した時は、電源をOFFにして、本体を傾けて排水口1のゴム栓取り外して本体内に溜まったドレン水を排出してください。
 - ・ドレン水を抜いた後は、排水口1のゴム栓を強く押し込んで確実に取り付けてください。ゴム栓を外したまま運転すると、室内を濡らす原因になります。
- 除湿運転時、閉め切った室内で使用すると除湿効果は上がりますが、室温が上昇します。
 - ・排熱ダクトと窓パネルを使用すると室温の上昇がある程度おさえられます。
- 温度・湿度が低くなるにつれて除湿量は少なくなります。
- 除湿運転時、温度、風量の設定は出来ません。
- 連続排水する場合は12ページを参照ください。

①電源プラグをコンセントに差し込んでください。

操作パネルの全表示が一瞬ついた後、電源ON / OFF ボタンのみが点灯します。
(電気が来てる状態を示す。)



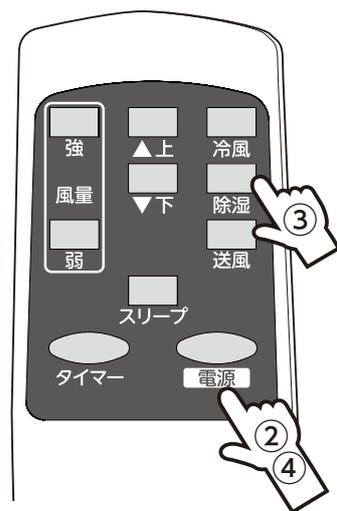
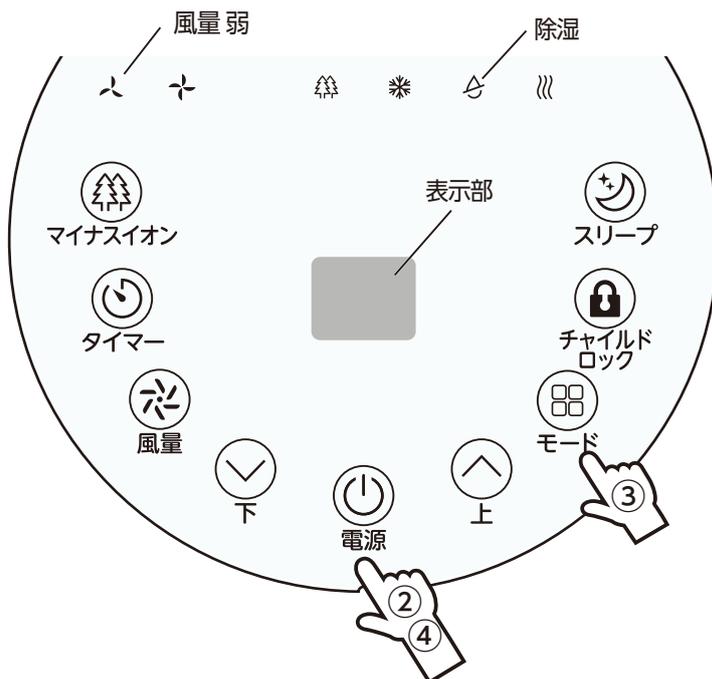
②操作パネルまたはリモコンの「電源」ボタンを押してください。

リモコンは、本体操作パネルの方向に向けて5m以下の距離で使用ください。
表示部に室温が表示されます。

③操作パネルの「モード」ボタンまたはリモコンの「除湿」ボタンを押して除湿モード(△)を選んでください。風量は、弱に固定です。

④運転停止は、操作パネルまたはリモコンの「電源」ボタンを押して運転を停止させてください。しばらくして運転停止します。

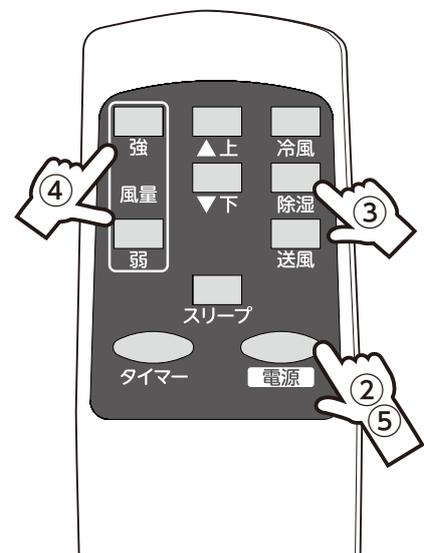
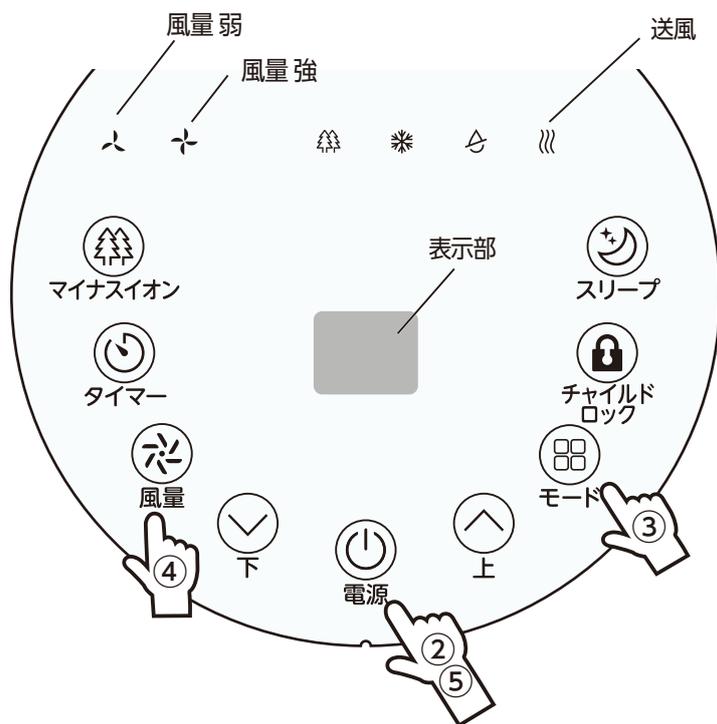
運転を停止した直後すぐに運転を再開しないでください。
必ず3分以上お待ちになってから運転を行ってください。



④ 正しい使い方(つづき)

送風モード運転(≡)

- ①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
操作パネルの全表示が一瞬ついた後、電源ON / OFF ボタンのみが点灯します。
(電気が来てる状態を示す。)
- ②操作パネルまたはリモコンの「電源」ボタンを押してください。
リモコンは、本体操作パネルの方向に向けて5m以下の距離で使用ください。
表示部に室温が表示されます。
- ③操作パネルの「モード」ボタンまたはリモコンの「送風」ボタンを押して送風モード(≡)を選んでください。
- ④操作パネルの「風量」ボタン(表示部へ弱、へ強)またはリモコンの「風量」ボタン(強、弱)を押して風量を選んでください。数秒後に変わります。
- ⑤運転停止は、操作パネルまたはリモコンの「電源」ボタンを押して運転を停止させてください。しばらくして運転停止します。



④ 正しい使い方(つづき)

切りタイマー設定(🕒)

・希望する運転停止時間(〇〇時間後)を1時間単位で1～24時間まで設定できます。

- ①“運転中”に操作パネルまたはリモコンの「タイマー」ボタンを押してください。
タイマーボタンが点灯します。
- ②表示部が点滅中に、操作パネルまたはリモコンの「上下」ボタンで希望する時間を設定してください。
 - ・表示部に設定した時間が点滅し数秒後に室温が表示されます。
 - ・設定時間に達すると、自動的に運転を停止します。
- ③切りタイマーを解除する時は、「タイマー」ボタンを押して表示が点滅している間に再度「タイマー」ボタンを押してください。



入りタイマー設定(🕒)

・希望する運転開始時間(〇〇時間後)を1時間単位で1～24時間まで設定できます。

- ①“運転停止中”に操作パネルまたはリモコンの「タイマー」ボタンを押してください。
タイマーボタンが点灯します。
- ②操作パネルまたはリモコンの「上下」ボタンで希望する時間を設定してください。
 - ・表示部に設定した時間が点滅し数秒後に点灯に変わります。
 - ・設定時間に達すると、自動的に運転を開始します。
- ③入りタイマーを解除する時は、「タイマー」ボタンを押して表示が点滅している間に再度「タイマー」ボタンを押してください。

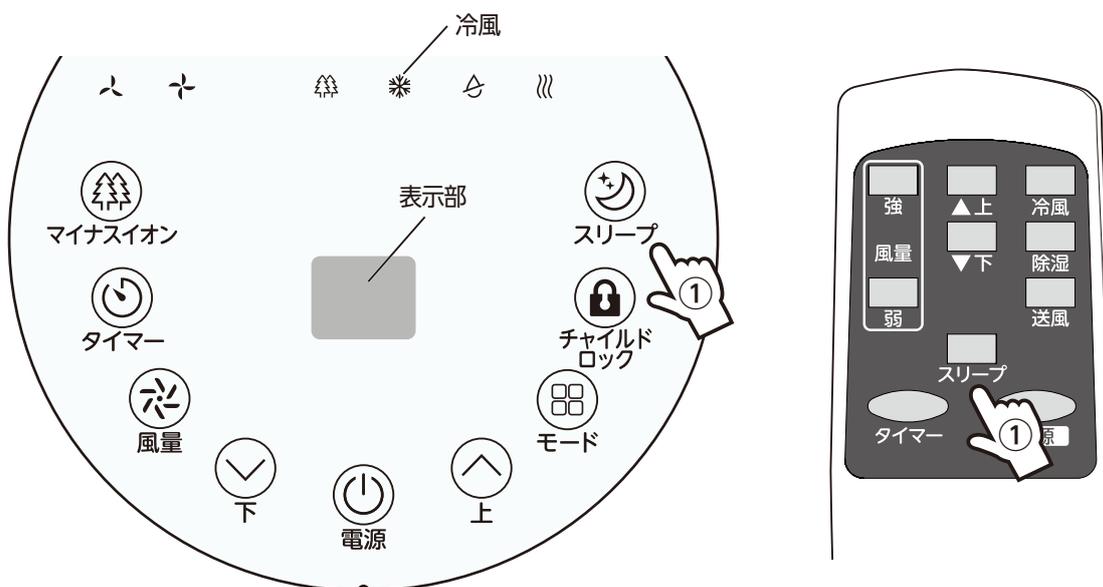


④ 正しい使い方(つづき)

スリープ設定(🌙)

・冷風モード(❄️)運転中に使います。送風モード、除湿モードでは使えません。

①冷風モード(❄️)運転中に操作パネルまたはリモコンの「スリープ」ボタンを押します。



- ・「スリープ」ボタンが薄暗く点灯し、表示部もうす暗くなり、風量は自動的に弱になります。
- ・スリープ設定後、最初の1時間で設定温度が1℃上昇、次の1時間で更に1℃上昇し運転を続けます。
- ・スリープ設定後12時間で自動的に運転停止します。

④ 正しい使い方(つづき)

チャイルドロック (🔒)

・小さいお子様がいたずらをしたり、誤ってボタンを押した場合に動作するのを防ぐための機能です。

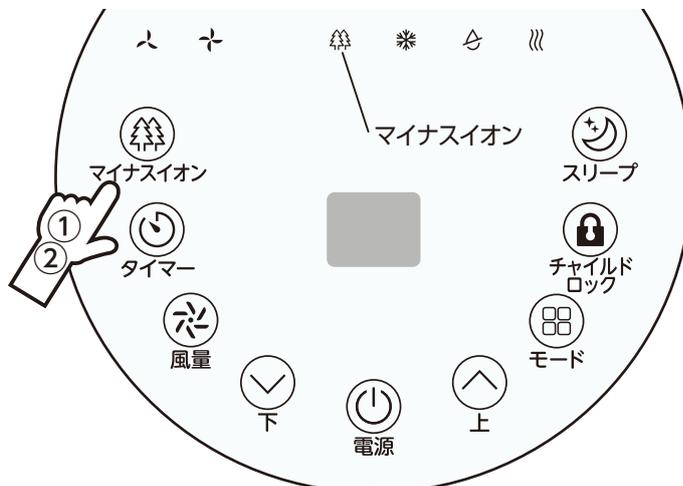
- ①“運転中”に操作パネルの「チャイルドロック」ボタンを3秒以上長押ししてください。操作部の「チャイルドロック」ボタンが点灯し設定されます。
- ②再度「チャイルドロック」ボタンを3秒以上長押しすると設定が解除されます。



マイナスイオン設定 (⚡)

・吹出し口の風にマイナスイオンを含ませる機能です。

- ①「マイナスイオン」ボタンを押すとイオンを発生させ、イオンを含んだ風になります。
- ②再度「マイナスイオン」ボタンを押すとイオンの発生を止めます。



④ 正しい使い方(つづき)

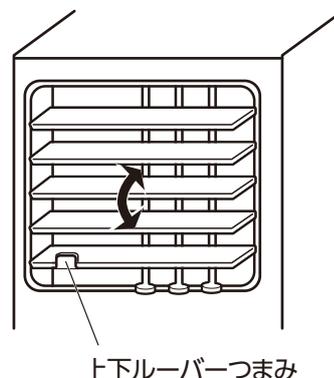
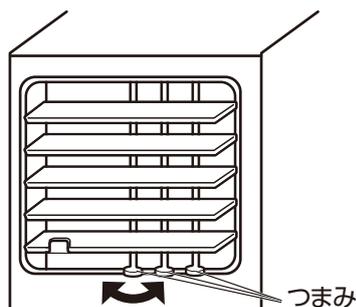
吹出方向の切換

- ・上下ルーバー下部のつまみを持って上下に調整してください。

調整幅は、およそ45°の範囲です。

- ・左右ルーバーのつまみを持ってそれぞれ調整してください

調整幅は、およそ45°の範囲です。

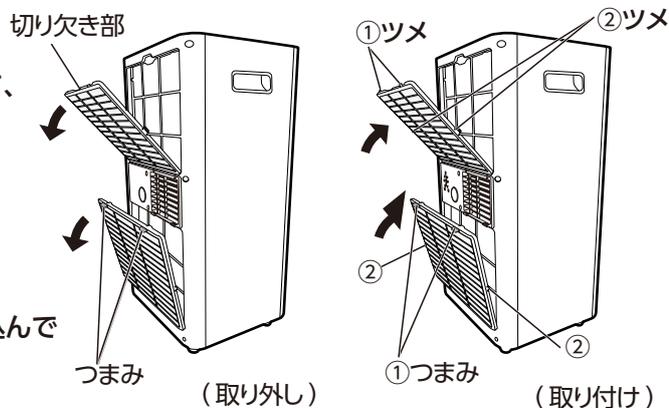


⑤ お手入れと保管

お手入れ

1. フィルターのお手入れ

- ・背面フィルターの切り欠き部・つまみを持って、手前に引張ってください。
- ・フィルターのホコリを電気掃除機などで吸取ってください。
- ・汚れのひどいときは、水洗いしてください。
- ・フィルターは完全に乾かしてから取り付けてください。
- ・取り付けは、フィルターの下側を本体に差し込んでから①ツメ・つまみをパチッと押し込みます。次に②両側のツメを強く押し込んでください。



⚠ 注意

- フィルターの掃除はこまめに行ってください。
 - ・フィルターが汚れていると本体内部が結露し、故障の原因となります。

2. 本体のお手入れ

- ・やわらかい布などを水またはぬるま湯に浸し、かたくしぼってから使用ください。
- ・汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯を使用してください。
- ・その場合、乾いた布などできれいに拭き取ってください。

⚠ 注意

- 直接水をかけて掃除することは、絶対にしないでください。
 - ・電気絶縁が悪くなり、ショート・感電・火災の原因となります。
- シンナー・ベンジン・薬品・みがき粉等を使用しないでください。
 - ・塗装面をいためたり、故障の原因となります。
- 化学ぞうきんを使用の場合は、その注意書きに従ってください。

⑤ お手入れと保管(つづき)

保管

- 「お手入れ」方法に従って、お手入れしてください。
- 1時間ほど、送風運転を行い、本体内部を乾燥させてください。
- ホコリがたまらないように適当なカバーをかけてください。
- 部品をなくさないように、保管してください。
- お子様の手の届かないところに保管し、湿度の高いところ、風雨にさらされるところ、直射日光の当たるところはさけてください。



注意

- 保管するときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
・感電やケガをする原因となります。
- 本機を横倒しで保管しないでください。
・再始動のとき、コンプレッサーなどの故障の原因となります。

※熱交換器、シロッコファンなどの内部掃除は、お買上げの販売店または保証書に記載されている当社「商品についての全般的なご相談」窓口にお問い合わせください。

⑥ 「故障かな?」と思ったら

修理を依頼される前にお確かめください。

症 状	お確かめください
スイッチを入れても 運転しない	電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか? 停電ではありませんか? ブレーカーが切れていませんか? 「FL」が表示されていませんか?
冷えない	保護機能(オーバーロードプロテクター)が作動中ではありませんか? →一度電源を切り、3分以上待ってから再運転してください。 フィルター・冷風吹き出し口・排熱口が障害物でふさがれていませんか? フィルターが汚れていませんか? 周囲の温度が35℃をこえていませんか? →本機は16℃～35℃の範囲でご使用ください。
水が漏れる	排水口が詰まっていますか? ドレンホースが詰まっていますか?
霜が付く	周囲の温度が16℃未満ではありませんか? →本機は16℃～35℃の範囲でご使用ください。 フィルターが汚れていませんか?
操作パネル表示部に 「E0」または「E1」、「E2」が 表示される	本体の“自己診断機能”が働いて、異常を検知しています。 お買上げの販売店にご相談ください。 E0: 操作パネル表示エラー E1: 室内温度センサーの故障 E2: コイル温度センサーの故障
FLが表示される(Full)	ドレン水が満タンです。13ページの注意に従ってドレン水を排出してください。

次のような場合には点検・修理が必要です。

長年ご使用の移動式クーラーは点検を!

ご使用の際このようなことはありませんか?

- スイッチを入れても時々運転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 本体が変形していたり、異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。

上記症状がなくても、お買上げ後4～5年程度たちましたら、安全のため点検をご依頼ください。点検費用につきましては販売店にご相談ください。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてからお買上げの販売店にご相談ください。

※お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険ですので絶対におやめください。

⑦ 保証とアフターサービス

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

<本体への表示内容>

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。



製造年 本体に西暦 4 桁で表示してあります
設計上の標準使用期間 6 年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

<設計上の標準使用期間とは>

※運転時間や温湿度など、標準的な仕様条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無料修理期間とは異なります。偶発的な故障を保証するものではありません。

●設計上の標準使用期間算定条件

項 目		条 件
使用環境	使用条件	100V 50Hz/60Hz
	室内 温度 / 湿度	27℃ / 47%
	設置条件	標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った部屋の広さ
想定時間	1日あたりの使用時間	9時間
	1年間の使用日数	112日 (6/2 ~ 9/21)

※「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

1. 保証書

- この製品には保証書がついています。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容を良く読み、大切に保管してください。保証期間はお買上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼される時

- 内部をさわらずにお買上げの販売店にご依頼ください。保証の記載内容により修理いたします。
- 破損箇所をさわらずにお買上げの販売店にご依頼ください。保証の記載内容により修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときはお買上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の最低保有期間

- この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は製造打切後 6 年としております。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- 修理サービスや商品についてのご相談は、お買上げの販売店にご依頼ください。
- ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、保証書に記載の当社まで、お問合わせください。

保証書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

品名	移動式クーラー	型式	KEP203R		
保証期間	1年間(消耗品は除く)		★お買上げ日	年	月 日
★お客様	ご住所	〒	TEL		
	お名前	様			
★販売店	住所・店名 電話番号	販売店印又は保証書・レシート添付欄			印

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体銘板その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、お買上げの販売店が無料修理いたしますので、本保証書にご記入のうえ、製品に添付し、お買上げの販売店にご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
- 本書の提示がない場合。
- ホ. 本書にお買上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理を依頼されることができない場合には、本書記載の当社にお問合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

●この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または本書記載の当社にお問い合わせください。

商品についての全般的なご相談

☎ フリーダイヤル

受付時間：平日9:00~17:30

0120-295-595

KODEN

株式会社 応電

〒170-0013

東京都豊島区東池袋1丁目32番7号

<https://koden-j.com/>